

小山を創る

Building on Oyama

小山をかえる、小山を創る。

「夢」「未来」あふれる小山を目指して歩んできたまちづくりの軌跡。

Positive Change in Oyama, Proactive Development in Oyama

Timeline of City Development: Working toward a city where people can invest their future.

「小山をかえる」をキーワードに展開してきた行財政改革を経て、

「人・行政を創る」、「まちを創る」、「くらしを創る」の3つの「創る」を基本理念に、新しい小山の創生を進めています。

「豊かで活力があり、暮らしやすい小山」の創造に取り組んできた小山市のまちづくりを紹介します。

3つの「創る」

I 人・行政(市役所)を創る

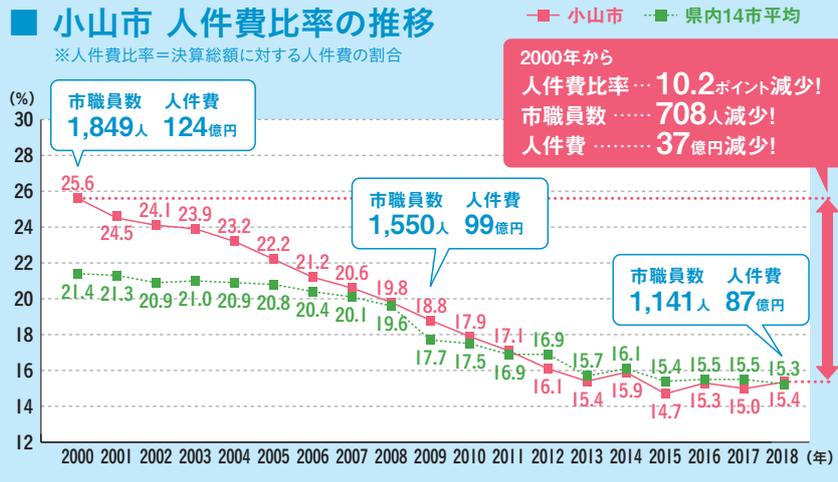
II まちを創る

III くらしを創る



■ 小山市 人件費比率の推移

※人件費比率=決算総額に対する人件費の割合



2000年から
 人件費比率…10.2ポイント減少!
 市職員数…708人減少!
 人件費…37億円減少!

市職員数 1,849人
 人件費 124億円

市職員数 1,550人
 人件費 99億円

市職員数 1,141人
 人件費 87億円

出典: 広報おやま2018.10月号、11月号
 ※市職員数は、2013年以降、小山市市民病院除く



桑市民交流センター「マルベリー館」

市役所の出張所に加え、子育て支援室や中央図書館桑分館があります。様々なイベントを開催しています。

まちなか交流センター「おやま〜る」

市民活動とボランティアの支援・情報・交流の広場となる拠点施設です。

— 人・行政(市役所)を創る —

I Building on Our City

Fiscally sound policy steps were taken to rework the city budget, like streamlining through wage reform. In doing so, the city was able to make room for new projects. Among such was the establishing and/or the relocating of public facilities, the lowering of water rates and the installing of air conditioning systems in all municipal elementary and junior high schools.

新しい「小山を創る」にあたって、市が最も重要視し、初めに取り組んだのは、行財政改革でした。行政のスリム化や給与制度の改革等により生み出した新たな財源を活用し、新たな事業を展開してきました。

「人・行政を創る」では、まちなか交流センター「おやま〜る」を開設するとともに、交流センターとして「しらさぎ館（間々田）」「ゆめまち（小山城南）」「マルベリー館（桑）」を、そして、「消防本部」「新小山市市民病院」を移転新築したほか、水道料金の引き下げや、市内全小・中学校のエアコン設置などを実現しました。

地域の中核病院、新小山市市民病院

急性期医療を担う地域のの中核病院として市民に安全で質の高い医療を提供すべく、「緑の健康づくりの森」の一角に2016年1月に移転、開院しました。

安全安心を守る消防本部

高機能消防指令センターを有する消防本部庁舎。女性消防隊員が多いことも特徴です。





**小山駅東口
駅前広場の整備**

北関東の玄関口としてふさわしい市街地の形成を目指し、駅前広場をはじめ、通りやロータリーなどを整備しました。

II まちを創る



**小山第四
工業団地の
造成・分譲**

新4号国道から県道福良羽川線を約200m東進した場所に小山第四工業団地を造成しました。

小山市のにぎわいを創出し、活力あるまちを創造していくために、様々な事業を展開しました。

魅力ある市街地を形成することで中心市街地の活性化を図るため、「小山駅東口駅前広場の整備」と「小山駅中央自由通路の整備」を行いました。

また、「小山第四工業団地の造成・分譲」を行ったほか、「栗宮新都心構想」を策定しました。

**小山駅
中央自由通路
「さくら道」**

鉄道により分断されていた市街地を結ぶ自由通路です。駅の東西を快適に往来することができます。



II Enhancing Viable City Living

A variety of projects have been developed to rejuvenate the city. The Oyama Station East Exit Square Improvement Project and the Central Passage Improvement Project were implemented with the intention of stimulating the city center. In addition, plans have been drawn up for constructing the Oyama 4th Industrial Park and subdivision, and the New Awanomiya City Center.



シニア 元気あつぷ塾

2006年から一般高齢者を対象とした筋力トレーニング事業を実施しています。現在はサポーターである「きり会」が自主運営し、高齢者から人気を集めています。

第1回全国市区 「高齢化対応度調査」

全国1位

急速に進む高齢化への対応度を調査したもので、全国789市と東京23区を対象に実施。小山市が全国1位に。

(日本経済新聞社
産業地域研究所)

III くらしを創る

子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせる小山市を目指し、「キッズランドおやま」の開設、「中学3年生までの医療費無料化」、「保育園の増設」などの事業を展開してきました。

2013年には「全国市区高齢化対応度調査」で小山市が全国1位の評価を受けたほか、「女性活用度全国11位」、「住みよさランキング県内1位」などの高い評価を得ました。また、日本経済新聞社産業地域研究所が実施した「SDGs（持続可能な開発目標）先進度調査」（2019年）においても全国11位、政令指定都市・中核市・特別区を除いて全国1位の評価を得ました。



住みよさ ランキング2015

栃木県内1位

首都圏各方面へのアクセスの良さ、手厚い子育て施策、生活環境の良さ等の強みを持つ小山市は、県内第1位に。

(東洋経済新報社)

キッズランドおやま

関東最大級の屋内型プレイランドです。子ども一人ひとりの成長に合わせた、6つのゾーンと多様なプログラムが用意されています。

III Taking Steps Toward Viable Living

Oyama is continually active in providing a supportive living environment for its residents such as seen in the city opening of Kids Land Oyama. Moreover, Oyama has stepped up the building of new nursery schools; and, in addition, has made medical care free for all children up to junior high age. Oyama City holds high rankings in many categories: Ranked number one in a nationwide survey on addressing the Needs of Japan's Aged. Ranked 11th

in the category of Empowering Women in Japan. Ranked number one for the Prefecture's best place to live.

「全国813市区 女性活用度調査」

全国11位

人口10万人以上の市の女性管理職比率を調査したもので、2014年に発表され、小山市は全国11位に輝きました。
(日本経済新聞社)

おやま 女性活躍応援塾

おやま女性活躍応援塾の意見をもとに、トップセミナーや女性異業種交流会をはじめとする未来を拓くキャリアデザイン塾を展開しています。



そして、未来へ。

小山を創る第二章

Chapter 2:
Creating the Future of Oyama



企業を誘致し、まちに活力を



まちの大動脈、新国道4号

— 1 —
**人と企業を
呼び込む!**
Attracting People and Companies!
新規工業団地の開発・企業誘致と
若者の雇用の確保、街なか居住を促進する
市街地再開発、新市庁舎の整備等により、
人と企業を呼び込みます。



新しい時代の行政創りの中枢拠点としての
市役所本庁舎の整備(イメージ図)

— 2 —
**安全安心な
小山市!**
Safety and Peace of Mind: Oyama!
安全安心なまちづくりのため、
国営かんがい排水事業「栃南南部地区」の
事業促進や、豊穂川・柚井木川等の
排水強化対策を推進します。



安全安心のために、
国営かんがい排水事業

優れた「人」「豊かな「自然」、

古い「文化と歴史」を有する小山市。

東京圏からわずか60km、

新幹線が停車する鉄道・国道共に交差する交通の要衝です。

これらのポテンシャルを生かし、これまでのまちづくりを礎に、
未来へと続くまちづくりが、新たに始動しています。





農泊インバウンドツアーの誘致



スポーツで人を呼びこむ



— 4 —

観光地化を推進し、 交流人口・関係人口を 増やす!

Promote Tourism in Oyama and
Increase the Number of Non-Residents
who frequent Oyama for various reasons!

「渡良瀬遊水地」、「本場結城絨」、「小山評定」、
「スポーツのまちおやま」等の地域資源に磨きをかけ、
「農泊・民泊・合宿泊」を中心とした
「エコ・アグリ・スポーツツーリズム」を
推進します。

内閣府の戦略的イノベー
ション創造プログラム
(SIP) 開発研究で、炎症
を抑える効果、脂質異常
の予防効果、肌のキメを
良くする美肌効果が示唆
されました。

健康長寿 はとむぎ
100歳を目指すプロジェクト



高齢者の元気づくりを支援
元気あっぷ!体操



— 3 —

「子育て支援日本一」 「健康長寿100歳都市」を 目指す!

Striving to Be "Nation's Top Parenting Support",
"The City of Healthy Centenarians"!

幼児教育・保育の無償化、こども医療費助成の
中学生までの現物給付拡大などの子育て支援、
地域包括ケアシステム構築や
見守り・支え合いなどの高齢者支援を
さらに充実させます。

— 5 — 50万中核都市 の実現!

Realizing a Core City with
a Population of 500,000 people!

「小山地区定住自立圏構想」、
「関東どまんなかサミット会議」、
「栃木市との連携」等を推進し、
「50万中核都市」の
実現を目指していきます。

小山地区定住自立圏構想の推進



下野市、野木町、茨城県結城市との
「小山地区定住自立圏構想」

栃木県内初の
栃木市との広域公営バスの運行



待機児童ゼロの実力、
保育園を整備



増える児童に対応、
東城南小学校を新設開校





市議会議員



福田 洋一 議長

植村 一 副議長

City Council, Administration

The City Council has 30 publicly elected council members who deliberate on and legislate matters of concerns that includes the city budget, ordinances and the like. There are four regular sessions a year; and extra ordinary sessions are held if necessary. The city council strives for high transparency. Residents are provided ample opportunity to make their voices heard in government.

議会・行政

市民の声を反映したまちづくり

小山市議会は、選挙で選ばれた30名の議員で構成されており、市の予算や条例などを審議・決定しています。議会には年4回の定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。

小山市では透明性の高い議会運営を目指しており、議会は傍聴できる他、ケーブルテレビやインターネットでの中継、議会だより等を

通じて、議事内容を知ることができます。

行政においては、市民の声を行政に反映するため、市長へのメールやパブリックコメント等を受け付けています。また、定期的に地域懇談会などを開き、市民の意見や要望、提案等を聴く機会の充実を図っています。これからも、市民が主役の行政を推進していきます。

市執行部



結城紬が2010年11月に世界のユネスコ無形文化遺産に登録されたことを記念し、市議会12月定例会初日に市長ほか市執行部職員全員が本場結城紬を着用する「紬議会」

小山市民憲章

Oyama City Citizen's Charter

私たちのふるさと小山市は、恵まれた風土と、豊かな伝統のもとに、未来にむかって躍進する希望あふれるまちです。私たちは、小山市民であることを自覚し、誇りをもって新しい時代にふさわしいまちづくりを進めるとともに、全市民のしあわせと、郷土の繁栄をねがって、この市民憲章を定めます。

1. 自然を愛し、緑豊かな美しいまちをつくりましょう。
2. 歴史を重んじ、教養を深め、より高い文化を育てましょう。
3. すすんできまりを守り、安全で平和な生活をおくりましょう。
4. 互いに助けあい、親切でおもいやりのある心を養いましょう。
5. 働くことに喜びをもち、健康で明るい家庭を築きましょう。



小山市の紋章
Oyama City Emblem
【昭和29(1954)年9月制定】

小山の小を図案化したものにして形全体は小山を表し円は市民の融和と中央の山形は市の躍進を象徴しています。



市の花
オモイガワザクラ
Omoigawa Zakura (City Flower)
【昭和53(1978)年7月10日制定】

小山市原産の名桜です。花弁は10片ほどの半八重咲きで、ソメイヨシノと八重桜の中間の時期に、淡い紅色の可憐な花が咲きます。



市の木
シラカシ
Bamboo-leaved Oak (City Tree)
【昭和53(1978)年7月10日制定】

自然な姿を保つ代表的な樹木です。幹は天上にそびえ、枝は四方に勢いよく広がり、自然を守る市民の融和と発展の姿を表しています。



市の鳥
セグロセキレイ
Japanese wagtail (City Bird)
【昭和53(1978)年7月10日制定】

白と黒のツートンカラーで、溪流地帯に見られる鳥です。思川の清流によく似合い、その姿はクリーン小山を象徴しているかのようです。

都市交流・連携一覧

姉妹都市・友好都市

オーストラリア・ケアンズ市、中国・紹興市、
中国・本溪市、茨城県結城市

小山地区定住自立圏

小山市、下野市、野木町、茨城県結城市

関東どまんなかサミット会議

小山市、栃木市、野木町、茨城県古河市、
埼玉県加須市、群馬県板倉町

教育機関との連携協定締結一覧

白鷗大学、宇都宮大学、関東職業能力開発大
学校、小山工業高等専門学校、栃木県立小山
北桜高等学校、大妻女子大学

自治体との防災協定締結一覧

栃木県 県内全市町

茨城県 日立市、古河市、結城市、笠間市

群馬県 富岡市、板倉町

埼玉県 加須市、鴻巣市、新座市

千葉県 いすみ市

東京都 世田谷区、葛飾区、東村山市

宮城県 大崎市

富山県 南砺市

福井県 あわら市

静岡県 富士宮市

愛知県 豊川市、西尾市、安城市

兵庫県 西宮市、豊岡市

小山市の軌跡

Oyama City's Path

昭和29(1954)年に市制施行した小山市。その軌跡をたどる。



昭和53年(1978) 東北新幹線試運転



昭和37年(1962) 工業団地の造成が進む



昭和29年(1954) 小山・大谷の合併を祝うパレード (星政一氏提供)

- 昭和29年(1954)**
 - 小山町と大谷村が合併し小山市誕生
 - 初代小山市長に山中泰輔氏就任
- 昭和30年(1955)**
 - 豊田・穂積・中村が合併して美田村誕生
 - 間々田町・生井村が合併して新しい間々田町誕生
- 昭和31年(1956)**
 - 寒川村が間々田町と合併、桑村・絹村が合併して桑絹村誕生
 - 結城紬・国の重要無形文化財に指定
- 昭和33年(1958)**
 - 東北本線上野〜宇都宮間電化完成
- 昭和36年(1961)**
 - 市街地開発組合が発足し、工業団地造成に着手
- 昭和37年(1962)**
 - 最初の保育所・第一保育所開所
- 昭和38年(1963)**
 - 間々田町・美田村が小山市と合併
- 昭和39年(1964)**
 - 市役所庁舎落成。市制施行10周年記念式典挙行
 - 間々田乙女不動原で瓦窯跡発掘
- 昭和40年(1965)**
 - 国立小山工業高等専門学校開校
 - 桑絹町が小山市に合併
 - 国道4号線小山バイパス開通
- 昭和42年(1967)**
 - 消防庁舎開庁
- 昭和43年(1968)**
 - 中央町にX字形歩道橋完成
 - 小山高甲子園初出場
- 昭和44年(1969)**
 - 人口10万人となる
- 昭和45年(1970)**
 - 小山市長に栗田政夫氏初当選
- 昭和46年(1971)**
 - 市旗制定
- 昭和49年(1974)**
 - 市制20周年記念式典挙行
- 昭和51年(1976)**
 - 春の選抜高校野球で小山高校準優勝
- 昭和53年(1978)**
 - 市民憲章・市の花・木・鳥・市歌制定
 - 中央市民会館・柝の葉会館開館
 - 摩利支天塚古墳・乙女不動原瓦窯跡が国史跡に指定
- 平成15年(2003)**
 - 第1回おやまブランドまつり開催
 - 「第1回小山市中学生ケアンズ派遣団」を派遣
- 平成16年(2004)**
 - 小山市長期ビジョン「新おやま21」ビジョン」策定
 - 小山市制50周年記念式典開催
 - 小山評定ふるさと大使誕生
 - 「小山市男女共同参画推進条例」が施行
- 平成17年(2005)**
 - 小山市地区まちづくり条例施行
 - 子育て支援センター開設
 - 国勢調査で人口16万人を突破し、足利市を抜いて栃木県内第2位の都市となる
- 平成18年(2006)**
 - 小山城南出張所オープン
 - 道の駅思川オープン
 - 小山市・ケアンズ市「姉妹都市盟約」に調印
 - 第1回おやま開運まつり開催
 - 「第1回小山市高校生紹興市派遣団」を派遣
- 平成19年(2007)**
 - まちの駅「思季彩館」開館
 - 小山市文書館開館
- 平成20年(2008)**
 - 小山地区夜間休日急患センター開設
 - 「環境都市」宣言
 - 小山市バスネットワーク整備完了
- 平成21年(2009)**
 - 間々田市民交流センター「しらすぎ館」開館
 - 車屋美術館開館
 - 第1回おやま思川ざくらマラソン大会開催
 - 小山市・紹興市「友好交流関係に関する協定書」に調印
- 平成22年(2010)**
 - 大沼(羽川)が国の「ため池百選」に選定
 - 結城紬がユネスコ無形文化遺産に登録
 - 小山市民農園開園
- 平成23年(2011)**
 - 平成23年3月東日本大震災
 - 思川駅自由通路・南北駅前広場・北口アクセス道路が開通
 - 第1回開運小山うどんまつり開催
- 平成29年(2017)**
 - ル、海老沼匡さんが銅メダル獲得(柔道男子66kg級)
 - 国営かんがい排水事業「栃木県南部地区」栃木南部農業水利事業所開設
- 平成30年(2018)**
 - 小山市を本拠地とする栃木ゴールデンブレーブスがBCリーグの初シーズンを迎える
 - 栃木県内初の義務教育学校「絹義務教育学校」開校
 - 台湾高雄市教育局及び経済発展局と「友好交流協力に関する提案書」に調印
 - 8月9日を「野球の日」に制定
 - 9月8日を「桑の日」に制定
 - 関東どまんなかサミット会議へ加入
 - コミュニティFM「おーらじ」開局
 - 「とちぎ結婚支援センター小山」開設
- 令和元年(2019)**
 - 桜の里親 思川桜2000本達成
 - 長谷部浩平四段が戦後初の栃木県出身プロ棋士となる
 - 「中華蕎麦とみ田 富田治ブレゼンツ最強ラーメン祭2018 in 小山」開催
 - 健康長寿 はとむぎ 100歳を目指すプロジェクト始動
 - 国史跡摩利支天塚・琵琶塚古墳資料館開館
 - 小山市版ステイネーションキャンペーン(DC)事業実施
 - 小山市開運スポーツ合宿所オープン
 - コウノトリ「ひかる」くん特別住民票発行
- 平成31年(2019)**
 - 「間々田のじやがまた」が国の重要無形民俗文化財に指定
 - 東城南小学校開校
- 令和元年(2019)**
 - 「日本和食(日本料理)サミット2019 in 小山」開催
 - 市役所新庁舎建設工事着工
 - 栃木ゴールデンブレーブスがBCリーグチャンピオンシップを制し、初のリーグ優勝
 - 小山市制施行65周年記念式典挙行



平成26年
(2014) 結城市と
友好都市締結



平成20年
(2008) 「環境都市」宣言



平成15年
(2003) 第1回小山市中学生
ケアンズ派遣団



平成13年
(2001) 栃木県内初の
「男女共同参画都市」
宣言

平成14年
(2002)

■ 小山西高が甲子園初出場

平成13年
(2001)

■ 市民賞第一号に川上知子さん(重畳挙げ)
■ 栃木県内初の「男女共同参画都市」宣言
■ 中久喜城跡が小山氏城跡の一つとして、国史跡に追加指定

平成12年
(2000)

■ 小山市長に大久保寿夫氏初当選
■ テレビ小山放送開局

平成9年
(1997)

■ 環境基本条例施行

平成7年
(1995)

■ 人口15万人となる
■ 寺野東遺跡が国史跡に指定

平成6年
(1994)

■ 駅西再開発ビル「ロブレ」オープン
■ 市制施行40周年記念式典挙行
■ 都市景観条例施行

平成5年
(1993)

■ 中央図書館開館
■ みどりまちづくり条例が施行
■ 県南公設地方卸売市場開場

平成4年
(1992)

■ 「健康都市おやま」宣言
■ 「平和都市」宣言

平成3年
(1991)

■ 岡藤平氏(中央町2丁目) 男性長寿日本一
■ 鷲城跡・祇園城跡が小山氏城跡として国史跡に指定

平成元年
(1989)

■ 市制施行35周年記念式典挙行

昭和63年
(1988)

■ 小山市長に船田章氏初当選
■ 小山聖苑完成

昭和61年
(1986)

■ 白鷗大学開校
■ 乙女の一部を住居表示

昭和59年
(1984)

■ 市制施行30周年記念式典挙行
■ 小山市長に小林武夫氏初当選

昭和58年
(1983)

■ 小山市立博物館開館

昭和57年
(1982)

■ 東北新幹線小山駅開業

昭和55年
(1980)

■ 小山市民病院誕生

平成28年
(2016)

■ 新小山市民病院新築オープン
■ 第7次小山市総合計画策定
■ 住民票・印鑑登録証明書・戸籍証明書のコンビニ交付開始
■ 絹分遣所開所
■ 桑市民交流センター「マルベリー館」オープン
■ 小山地区定住自立圏形成協定締結
■ キッズランドおやま、おやま本場結城袖クラフト館がロブレに同時オープン
■ リオデジャネイロオリンピックで萩野公介さん金・銀・銅の3個のメダル獲得(競泳男子400m個人メドレー銀メダル、4×200mフリーリレー銅メダル)

平成27年
(2015)

■ 小山市健康医療介護総合支援センターオープン
■ 路上喫煙防止条例施行
■ 小山御殿広場リニューアルオープン
■ 平成27年9月関東・東北豪雨
■ 小山市人口ビジョンおよび小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

平成26年
(2014)

■ 小山駅東口新駅前広場完成
■ 栃木県内初の「スポーツ都市」宣言
■ 結城市と友好都市締結
■ 小山市制施行60周年記念式典挙行
■ 第1回ツール・ド・おやま2014開催

平成25年
(2013)

■ 新小山市民病院発足
■ 小山城南市民交流センター「ゆめまち」開館
■ 「城山・サクラ・コモン」竣工
■ 新消防庁舎開庁
■ 「小山きもの日」実施
■ 全国市区「高齢化対応度」日本一

平成24年
(2012)

■ 小山駅中央自由通路「さくら道」開通
■ 渡良瀬遊水地がラムサール条約湿地に登録
■ ロンドンオリンピックで萩野公介さん銅メダル(競泳男子400m個人メドレー)、海老沼匡さん銅メダル獲得(柔道男子66kg級)、また二人に小山評定ふるさと大使委嘱・市民栄誉賞授与



平成31年
(2019) 東城南小学校開校



平成29年
(2017) コミュニティFM
「おーラジ」開局



平成28年
(2016) 海老沼匡
凱旋報告



平成28年
(2016) 萩野公介
凱旋パレード

小山市は栃木県南部に位置し、東京圏から北に約60km、
 県都宇都宮市から南に約30kmの距離にあります。

市の人口は、現在約16万7千人で、県内では宇都宮市に
 次ぐ第2の「南都」です。様々なデータから、小山市の強みや
 魅力、住みやすさを見てみましょう。

Take a Look!

Data of 小山市

数字で見れば、まちのチカラが見えてくる!

小山市のココに注目!



気温

Temperature

最高気温

37.4 °C

最低気温

-6.6 °C

平均気温

15.2 °C

出典:「小山市統計年報」平成29年版

人口総数

Total Population

167,659 人

男性 84,865人 女性 82,794人

出典:小山市ホームページ
 (2019年1月1日現在)

面積

Area

171.76 km²

出典:「小山市統計年報」平成29年版
 (2019年1月1日現在)

世帯数

Number of Households

69,279 世帯

出典:小山市ホームページ
 (2019年1月1日現在)

人口の推移

Changes in Population



出典:「小山市統計年報」平成29年版(各年10月1日現在)

地目別土地面積

Land Area by Category

総数 171.76 km²

57.86 km²
 田

24.08 km²
 畑

31.09 km²
 宅地

9.01 km²
 山林

0.81 km²
 原野

48.91 km²
 その他

出典:「小山市統計年報」平成29年版(2019年1月1日現在)

2016年リオデジャネイロオリンピック
メダル獲得数

No. of Medals Won in the 2016 Rio de Janeiro Olympic Games

メダル獲得数
合計4つ

萩野公介選手: 金・銀・銅3つのメダル
海老沼匡選手: 銅メダル

出生地別
メダル獲得数

出典: 小山市調べ

全国1位

第1回全国市区
「高齢化対応度調査」

1st Nationwide Survey on Addressing Aging in Japan

全国1位

出典: 日本経済新聞社産業地域研究所



全国813市区
女性活用度調査

Survey on Empowering Women in 813
Municipalities in Japan

全国11位

出典: 日本経済新聞社

全国市区 SDGs (持続可能な開発目標)
先進度調査

Nationwide Survey on the Advancement of
Sustainable Development Goals (SDGs) in Japan

全国11位

出典: 日経グローバル

全国1位

政令指定都市・
中核市・
特別区を除き

東北新幹線の駅別
1日平均乗車人員

Average Number of Daily Passengers
on the Tohoku Shinkansen by Station

定期割合
(2017年度)

出典: JR東日本ホームページ「新幹線別乗車人員」

No.1

新幹線の定期割合50%超え!



1日平均乗降者数

Average Daily Passengers

小山駅 22,375人
間々田駅 4,320人

参照: JR東日本公式ホームページ



住みたい田舎ベストランキング
2018年版

Most Desirable Place to Live in the Countryside 2018 Ranking

大きなまち(人口10万人以上)・
子育て世代が住みたい田舎部門

全国5位

出典: 宝島社「田舎暮らしの本」2月号、
「2018年版 住みたい田舎ベストランキング」



住みよさランキング
2015

Best Place to Live 2015 Ranking

栃木県内
(814都市中)

出典: 東洋経済新報社「住みよさランキング2015」

1位

待機児童

Waitlisted Children

0人

2019年4月実績



豊田・中・穂積地区

開運のまち おやまMAP

Oyama City Map

水とみどりと豊かな大地に恵まれ、四季彩豊かなまち、小山。
深い歴史にはぐまれてきた文化は、数々の行事の中に息つき、
人々ににぎわいと心の豊かさをもたらしています。



小山市版「デスティネーションキャンペーン」 を展開しています!

～新しい視点でのツアー、イベントが目白押し～

JRグループの大型観光企画デスティネーションキャンペーン(DC)に合わせ、小山市版DCを展開。渡良瀬遊水地や本場結城紬を活用した“着地型体験ツアー”の企画、小山御殿広場を活用した「最強ラーメン祭 in 小山」「肉汁グランプリ in 小山」の実施、「日本 和食(日本料理)サミット」の開催、代官屋敷を活用した「農泊・民泊」の推進など、地域資源を活用した観光地域づくりに取り組んでいます。



おさかなワイワイ大作戦



最強ラーメン祭 in 小山

小山地区



イベント歳時記

City's Events

春 Spring

- * 篠塚初午祭[3月]
- * 渡良瀬遊水地ヨシ焼き[3月]
- * おやま二千本桜まつり[3~4月]
- * 最強ラーメン祭 in 小山[3~4月]
- * 思川ざくらマラソン大会[4月]
- * 田間血方神社太々神楽[4月]
- * おやまブランドまつり[4月]
- * 間々田のじゃがまた[5月]
- * おやま田んぼアート田植え[5~6月]



国重要
無形民俗
文化財

渡良瀬遊水地
ヨシ焼き

間々田の
じゃがまた



おやま思川アユ祭り

思川の流しびな



Summer 夏

- * おやま地産地消・食育フェア[6月]
- * 思川の流しびな[7月]
- * 小山祇園祭[7月]
- * フェスタ in 鬼怒川[7月]
- * おやまサマーフェスティバル (小山の花火)[7月]
- * おやま思川アユ祭り[8月]
- * 寺野東遺跡縄文まつり[8月]
- * 小山の日本一ビールまつり[8月]

秋 Autumn

- * おやま田んぼアート稲刈り[10月]
- * おやま開運まつり[10月]
- * 開運小山うどんまつり[10月]
- * うまいものおやま評定[10月]
- * 小山市菊花大会[10~11月]
- * オレンジリボンたすきリレー[10月]
- * ハンドベルフェスタ in OYAMA[10月]
- * ツール・ド・おやま[10月]

- * 小山市農業祭[11月]
- * おやまバルーンフェスタ[11月]
- * 健康都市おやまフェスティバル[11月]
- * おやまエコリサイクルフェア[11月]
- * 小山きもの日[11月]
- * おもいがわ映画祭[11月]



開運小山うどんまつり



田んぼアート

©HONDA ESTILO /
おやま田んぼアート実行委員会2018

冬 Winter



花桶かつぎ

- * おやま思川マラソン大会[12月]
- * 小山の初市(だるま市)[1月]
- * 花桶かつぎ[1月]
- * 白鳥八幡宮古式祭礼[2月]



生井・寒川地区

間々田地区



小山で暮らしてみませんか？

住宅

市内転入+
住宅新築・購入で

最大

110万円補助

小山市内転入に伴い住宅(戸建て・マンション)を新築または購入し、小山市に定住した勤労者等に対して「転入勤労者住宅取得支援補助金」を30万円～最大110万円交付しています。

[工業振興課] ☎0285-22-9376

仕事

新卒者・転入者(40歳未満)
新幹線定期券代

最大月額

1万円×36ヵ月補助

東京圏に通勤する方の東北新幹線、東海道新幹線の定期券の購入費用を月額1万円を限度として最大36ヵ月補助します(新幹線通勤定期券購入補助金)。

[工業振興課] ☎0285-22-9376

移住

移住支援事業

わくわく地方生活実現パッケージ

小山市に帰ってきて、市内中小企業に就職すると **100万円補助**

小山市に帰ってきて、起業すると **300万円補助**

- ①直近5年以上、東京圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)に在住、かつ、東京23区に勤務する方
- ②転入し、栃木県の就職マッチングサイトに掲載された企業に就職する方、または、起業された方

[工業振興課] ☎0285-22-9376

子育て

待機児童

0人 2019年
4月実績

不妊治療費助成

5年間
100万円上限

こども医療費

中学**3年生**
まで助成

不育症治療費助成

1回**30万円**上限
(5回まで)

保育料

3歳～5歳(無料)
0歳～2歳
(住民税非課税世帯無料)
2人目半額
3人目以降無料

麻しん風しん混合(MR)
ワクチン予防接種費助成

未接種または
1回接種のみの方に助成
(1歳～18歳まで)

[こども課] ☎0285-22-9614

[子育て包括支援課] ☎0285-22-9634

[健康増進課] ☎0285-22-9634

教育

小中一貫教育を推進

県内初の義務教育学校
「**絹義務教育学校**」
開校

奨学金免除制度

おやまふるさとみらい
奨学金(大学等)

城南地区に新設

「**東城南小学校**」
開校

英語教育のまち

ALT市内全校配置
(大規模校は複数)

[教育総務課] ☎0285-22-9644
[学校教育課] ☎0285-22-9632

その他

入居者募集中!

おやま暮らし「お試しの家」

[工業振興課] ☎0285-22-9376



※各種要件等あり。詳細につきましては関係各課へお問い合わせください。

車でのアクセス



川口 JCT	東北自動車道	55km	佐野藤岡 IC	国道50号	18.8km
八王子 JCT	圏央道	80.5km	五霞 IC	国道新4号・国道50号	32km
水戸 IC	常磐自動車道	8.1km	友部 JCT	北関東自動車道	25.4km
高崎 JCT	関越自動車道	58.4km	岩舟 JCT	東北自動車道	9.2km
			桜川筑西 IC	国道50号	30.6km
			佐野藤岡 IC	国道50号	18.8km

小山市内中心部

電車でのアクセス



東京	JR東北新幹線	41分
	JR上野東京ライン	82分
新宿	JR湘南新宿ライン	71分
水戸	JR水戸線	81分
高崎	JR両毛線	105分

小山